

令和1(2019)年度 事業報告書



令和2年5月23日

認定 NPO 法人 芦屋市国際交流協会

1、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、3月12日から3月末日まで貸館閉鎖の影響で、貸館及び一般コピー利用と自販機利用が減収した。テニスコートは営業できた為、コートについては前年を上回る増収となった。しかしながら3月の全体としては約50万円の減収となった。

2、語学教室事業

1) 英語・英会話・スペイン語・英語絵本朗読教室

	講師名	曜日	場所
英語	五十嵐 かほる	水	ラ・モール芦屋 203室
	稲鍵 亜早子	木	潮芦屋交流センター
	御園生 寛子	金	
英語絵本朗読	中本 幹子	全12回	
英会話	John Dix	木	ラ・モール芦屋 203室
	Stephen Donald	木	
	Mathew Glen Boyd	金	
	John Dix	火	潮芦屋交流センター
		木	
	Stephen Donald	月	
		月	
Mathew Glen Boyd	金		
Mathew Glen Boyd	木		
スペイン語	Marco Venicio	火	ラ・モール芦屋 203室

2) 語学教室事業

令和1年度は英語3クラス、英会話8クラス、スペイン語1クラスの計13クラス受講者数78名で開始したが、受講者募集の策が講じて年度末には85名に増員した。

4月から特別講座として「英語絵本朗読教室」前期・後期（全10回）を新たに開講し、受講者は10名であった。

*新型コロナウイルス感染拡大防止策により今年度3月のACA事業は約30万円の減収となった。

3、姉妹都市交流事業

1) 第55回姉妹都市学生親善使節交換事業

例年通り、芦屋市と米国モンテベロ市との間で、55回目の学生親善使節(SA)2名ずつの相互訪問が行われた。

*派遣使節（期間：7/29～8/20）

- ・岡崎 麟太郎（高校2年・男性）
- ・玉田 紗和（高校2年・女性）

*受入使節（期間：7/23～8/12）

- ・エンジェル・ルイス（大学生18才・男性）
- ・ザッカリー・バーナル（高校生18才・男性）

*ホームステイ状況

芦屋市の学生親善使節の家庭でモンテベロ市の学生親善使節1名ずつを1週間受け入れる

とともに、一般市民からホストファミリーを4家庭募り、各家庭にモンテベロ市の学生親善使節1名ずつのホームステイを約1週間引き受けていただいた。

***実施した主要行事**

- ・市長・議長・消防署長・警察署長表敬訪問、書道体験、歓送迎会 (7/24)
- ・能体験、市内観光 (7/25)
- ・ハワイアンコンサートで紹介 (7/26)
- ・サマーカーニバルで花火鑑賞 (7/27)
- ・山手中ESS訪問 (7/30)
- ・芦屋学園、県立国際高校見学&ディベート (7/31)
- ・広島ツアー(平和学習) (8/2)
- ・潮見小学校訪問 (8/6)
- ・華道体験、さよならパーティー (8/10)
- ・帰国報告会 (9/14)

***歓送迎会には、駐大阪・神戸米国総領事館 農産物貿易部長ジェフ・ジーマーマン氏の出席もあり、イベントに花を添えることができた。**

ホストアンバサダー制度も7年目となり、17名を選任し、交流行事にホスト役として積極的に参加してもらい、引き続き交流活動の活性化を図った。

市民との交流では、潮見小学校と山手中中学校を訪問し、校長・教頭先生、担当教師、児童及び生徒の保護者と親交を深める事ができた。

期間中の参加人数はおよそ延べ681名であった。

***令和2年度の学生親善使節の選考**

学生親善使節の選考試験は、一次試験を行った後、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に貸館閉鎖と緊急事態宣言により二次試験を保留にし、選考は行っていない。

交換事業の実施が中止については、5月中旬にモンテベロ市と協議の上決定する。

2) 学生親善使節の市民への紹介

芦屋の学生親善使節を多くの市民に知ってもらう為、下記のイベントに参加し認知度を向上させた。

- ・芦屋川「さくらまつり」でのオープニングステージでの紹介
- ・ハワイアンコンサートで参加者との交流

3) 姉妹都市功労者 モンテベロ市 ヤエ・アイハラ氏

姉妹都市提携の当初から両市の友好に大きく貢献されたヤエ・アイハラさんへ、学生親善使節交流55回を記念してACAから感謝状と花束を贈呈した。

4、外国人のための日本語教室事業

令和1年度から北教室をラ・モール芦屋203室に移し、1クラス増設して2クラス、潮芦屋交流センター5クラスの計7クラスで運営した。

受講料については、従来の通り1レッスン200円とし、延べ学習者数は792人であった。

教室の登録者数が減少傾向にあり53名となった。新型コロナウイルス感染拡大防止により2月29日

から3月末までの休講措置によりレッスン数が減少した。

一方、子ども教室の生徒数は3～10人を推移していて延べ学習者数は102人であった。

講師の能力を向上させるため日本語ボランティア講師ブラッシュアップ研修を2回（9/20、1/17）行い延べ29名が参加した。

また、昨年度に初めて開講した「やさしい日本語講座」を今年度も継続して実施（10/7）し18名が参加した。

1) 日本語教室

クラス名	曜日	場所
日本語教室(大人対象)	火	ラ・モール芦屋203室
	金	
	月 (AM/PM)	潮芦屋交流センター
	火	
	木	
土		
子どものための日本語教室	土	

2) 文化教室

令和1年度は、新型コロナ感染拡大防止策の影響で3月は開催できず、華道教室10回、書道教室9回、茶道教室9回の開催となった。

茶道教室は恒例となってきた年始の生田神社の初釜に今年度も参加し、受講生も和服に馴染んで、より深く日本文化に触れてもらえる大変有意義な機会となっている。又、9月には市内の日本語学校（AISJ）の生徒40名（主にベトナム人）が参加し茶道初体験をした。

3) 潮見小学校での日本語指導

昨年度に引き続き教育委員会の依頼により「芦屋市外国人児童生徒にかかわる教育指針」をもとに、潮見小学校で日本語指導の必要な児童に対して日本語指導するボランティア講師を3名派遣した。

5、神戸大学大学院への日本語講座への出張講義

令和1年度も、神戸大学より前年度同様ほぼ同じ内容の出張講義の実施依頼を受けた。

上期及び下期の2期に渡り、各期14コマ分（1コマ=90分）計28コマ分の日本語ブラッシュアップ講座を実施。前年度から引き続き、日本語レベルの差に応じてマンツーマン講習を組み入れ、大変好評であったためこれからも継続させる予定である。

6、世界の料理教室シリーズ

食（料理）を通じて国際交流の意識と感覚を深めようとするのが目的であり、令和1年度は1、8月と新型コロナ感染拡大防止策による3月を除く年間9回（定員30名/回）を開講した。ネパール、スリランカ、エジプト、フィリピン、ルーマニア、イタリア、日本（初夏編・お正月編）の8か国のそれぞれ趣向を凝らした講座を積極的に開催し好評を博した。

7、各種イベント事業の実施

1) さくらまつりでのバザー開催

協会内の国内、国際及び外国人支援の各委員会の合同で開催しており、年度初めの最初のイベントであり、新年度に選ばれた学生親善使節を市民に紹介する場でもある。協会の会員他関係者の寄付によりバザー用商品の調達が行われており、商品の評価・値付けを行った後2日間フルに協会の会員にて販売協力をしてもらっている。この年度初めのイベントの売り上げは、協会の貴重な活動の資金として位置づけられている。(4/6.7開催)

2) 防災教室の開催

令和1年度は防災関連のイベントを2回開催した。

センターの避難所化を受けて、「災害時の外国人支援セミナー」(9/14開催24名参加)と「外国人向け防災イベント」(2/16:39名参加)である。

「外国人向け防災イベント」に関しては、昨年に引き続き隣市の(公財)西宮市国際交流協会との共催とし、国際学生ボランティア協会、市の防災安全課及びACA内の防災士等の協力を得ての開催となった。今後も毎年実施して、ACA、潮芦屋交流センター、市及び関係団体の防災に対する意識付けの強化を図りたい。

3) 潮芦屋文学セミナー

下記の如く2回のセミナーを開催した。

- ・桂福丸師匠による「英語落語」開催(6/23:109名参加)
- ・関西学院大学教授 森田雅也先生による「井原西鶴と元禄文化」をテーマに開催(11/16 30名参加)

4) 潮芦屋コンサート

下記の如く3回のコンサートを開催した。

- ・「ハワイアンコンサート」(7/26:114名 入場)
- ・「マリンバとピアノコンサート」(9/21:75名 入場)
- ・「クリスマスジャズコンサート」(12/7:73名 入場)

5) ワールドフェスタ

このフェスタは、協会内の国内、国際及び外国人支援の各委員会の合同で「食」と「パフォーマンス」をコラボさせたイベントである。

世界8カ国9品の料理(960食)、カップケーキ(186個)、ローゲンマイヤのパン販売と、センター利用者を主とした6団体によるステージ。

「チアリーディング」、「子供によるストリートダンス」、「奥池、ハイランドブリーズのコーラス」、「クラリネットアンサンブル」、「馬頭琴」の演奏、加えて外国人のための茶道教室のメンバーによる「お茶席」を開催するなど参加者を集めた。(10/27:502名入場)

6) 講演会の開催

「ドイツの日」講演会

神戸日独協会との共催で、在大阪・神戸ドイツ連邦共和国の総領事による「気候、環境、エネルギー問題についてドイツの現状と市民の取り組み」をテーマにした講演とピアノと歌によるドイツ音楽のミニコンサート、その後はドイツ菓子とお茶を頂きながら総領事との交流会を開催した。(2/15 : 85名参加)

7) その他のイベント

① 小旅行 (11/9 : 30名参加)

ユネスコ基金の補助金の認可もあり、日本語教室の学習者やその家族、ボランティア講師を対象に奈良方面にバス旅行を実施。法隆寺と東大寺をめぐり日本の歴史や文化に触れる大変良い機会となった。又、往路のバスの車内で防災士の委員による、「防災教室」を実施した。

② 春の文化祭 (2/16 : 42名参加)

日本語教室の学習者、家族、友人を対象に日本伝統行事に親しむ「春の文化祭」を開催した。7段の雛飾りをバックに、日本語教室の学習者、神戸大学海事科学部の受講者による日本語スピーチの他にカンボジアやミャンマーのダンスの披露もあり大いに盛り上がった。

③ ひょうご国際交流団体連絡協議会

今年度はACAが阪神・丹波ブロックの幹事にあたり協議会を開催した。2部構成で行い、1部は講演会「お能の世界にふれてみよう」をテーマに長山耕三シテ方観世流能楽師を講師にお招きし、多くの市民の皆さまにもご参加頂き、700年続く日本の伝統芸能 能楽の世界を楽しんで頂いた。2部は阪神・丹波ブロック関係者による意見交換会「2019年度の活動報告」として、各団体から細やかな活動報告と活発な意見交換が行われた。

④ 小学校高学年対象 英語クラス「マシュー先生と遊ぼう」

中学生スピーチコンテストと同時開催講座の新企画として、芦屋市教育委員会との共催で小学生高学年を対象としたACAのネイティブ英会話講師による英語クラスを保健福祉センターで行った。マシュー先生の趣向を凝らした授業内容に児童は興味深々で熱心に受講していた。(9/27 : 4名参加)

⑤ 国際親善としてのイベント

「韓国総領事館シェフと一緒に作る韓国料理」をテーマに駐神戸大韓民国副総領事も同席された料理教室を後援し、市民の皆様に韓国の食文化を堪能して頂いた。

(主催：駐神戸大韓民国総領事館、兵庫県、兵庫県国際交流協会、後援：ACA、兵庫県漁業協同組合連合会、明石浦漁業協同組合)

8、広報活動

【ACAかわらばん】

年4回発行のACAの活動紹介の情報季刊誌である。

今年度も収支改善のため、広告掲載料の協力を得ながら、紙面を見やすく、楽しめるようにカラー化を継続した。メンバーは各委員会から選任してもらい、会長と事務局をあわせて

「かわらばん委員会」を結成し、委員会を主体としてレイアウト作成、原稿依頼、英訳手配、印刷発注校正等を行っている。

【コスモネット】

1997年から「広報あしや」を英訳し、毎月「THE COSMONET」として紙面印刷、登録外国人への発送等の一連の活動を行っている。これらの作業を担うのはボランティア担当者5～6名(ネイティブの校正含む)で70部/月、3月で272号を発行した。

【コスモジャーナル】

10月より隔月に発行する外国人向け情報として「広報あしや」をやさしい日本語と英語に訳し、市内7か所に配架している。

【やさしい日本語での防災関連記事の発行】

「広報あしや」に掲載された防災関連の記事を「やさしい日本語」に翻訳し、ACA及びセンターのHPに掲載し外国人向けの防災周知を図った。今後も継続していく予定である。

【J:COM】

姉妹都市学生親善使節交換事業を市民により詳しく紹介するため、画面テロップ等を流すなどして広く市民向けに放映している。

今年度は2018年度、2019年度の元S A2名が「あしやトライあぐる」の取材を受け、「深めよう国際交流 モンテベロ市学生親善使節」という約9分間の特集番組が放映された。

9、他団体の各種イベントでの共催について

- ・小学校高学年の為の英語講座「マシュー先生と遊ぼう」(9/27) 芦屋市教育委員会
- ・講演会「ドイツの日」(2/15) NPO 法人神戸日独協会
- ・外国人等のための防災教室(2/16) (公財) 西宮市国際交流協会

10、各種イベントでの他団体への後援について

- ・大槻能楽堂・耕三の会(5/4) 芦屋能舞台
- ・韓国食文化交流教室(5/31) 駐神戸大韓民国総領事館、(公財) 兵庫県国際交流協会、兵庫県
- ・第46回芦屋市人権教育研究大会全大会(11/13) 芦屋市市民生活部人権推進課
- ・芦屋ユナイテッドドリレーマラソン2019(11/24) 芦屋ユナイテッドドリレーマラソン実行委員会
- ・第10回日本語・母国語スピーチ大会 in 芦屋2020(3/15) こくさいひろば芦屋
- ・ふれあい芦屋マダン2020(3/28 コロナにより中止) ふれあい芦屋マダン実行委員会

11、総会、理事会、常任理事会、各種委員会の開催

- ・定例総会(5/25)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1回
- ・理事会(5/25、3/9)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2回
- ・常任理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10回
- ・専門委員会の開催

外国人支援委員会	10回
国内事業委員会	10回
国際事業委員会	10回

12、会員数 (3/31 時点)

正会員	26名
賛助会員	179名
団体会員	2団体

13、物的サービスを受けたもののうち主なもの

- ・今年度はありません。

14、会務の主要事項

- ・潮芦屋交流センターの指定管理五か年契約が令和1年4月1日から開始した。

以上